

U17 アジアレスリング選手権大会（FS・GR） 選考基準・選考方法について

U15・17 強化委員会

1. 目的

本基準は、2026 年に開催される U17 アジアレスリング選手権大会（2026 年 5 月 23 日～31 日、ベトナム・ダナンにて開催予定）に派遣する日本代表選手を選考するための基準および選考方法を明確に定めるとともに、派遣選手の国際舞台での活躍、およびその後の強化育成を円滑に進めることを目的とする。

【本基準策定の背景（選考方法変更の理由）】

本大会が例年より早い 2026 年 5 月に開催されることとなり、例年最終選考会としていた 4 月開催の JOC ジュニアオリンピックカップ（横浜開催）では、フリースタイルレスリング・グレコローマンレスリング代表選手の派遣準備が間に合わないため、本年度はアジア選手権大会の代表最終選考会を設けず、選考委員会による実績選考となった。

※なお、女子レスリングの選考については、従来どおりとする。

2. 実施階級と参加資格

2.1. 実施階級

国際レスリング連盟（UWW）の規定に基づき、以下の合計 20 階級で代表を実績選考する。

スタイル（略称）	階級数	階級区分（参考）
フリースタイル (FS)	10 階級	41kg～45kg、48kg、51kg、55kg、60kg、65kg、71kg、80kg、92kg、92kg～110kg など
グレコローマン (GR)	10 階級	41kg～45kg、48kg、51kg、55kg、60kg、65kg、71kg、80kg、92kg、92kg～110kg など
合計	20 階級	

2.2. 参加資格

以下のすべての条件を満たす者を選考対象とする。

- ① 国籍:日本国籍を有する者であること。
- ② 登録:2025 年度の（公財）日本レスリング協会登録者であること。
- ③ 年齢:2009 年（平成 21 年）～2011 年（平成 23 年）生まれの者であること。

3. 選考対象大会と選考方法

3.1. 選考方針

本年度は、上記背景に基づき、選考委員会による実績選考とする。

3.2. 選考対象実績

以下の大会の結果を、選考の主要な資料とする。(記載順にかかわらず、実績として全て評価する)

(1) 第1段階

2026 年度 JOC ジュニアオリンピックカップ U17、4 月国内最終選考の出場権を得た者

(2) 第2段階

2025 年度 国民スポーツ大会の成績

2025 年度 全国高等学校総合体育大会（インターハイ）の成績

2025 年度 全国高校生グレコローマン選手権大会の成績

2025 年度 沼尻杯第 51 回全国中学生レスリング選手権大会の成績

2025 年度 東京都知事杯第 16 回全国中学選抜 U15 レスリング選手権大会の成績

2025 年度 風間杯第 69 回全国高等学校選抜レスリング大会

2025 年度 JOC ジュニアオリンピックカップ U17 の部の成績

その他、選考委員会が指定する大会での成績、および強化合宿での評価

4. 選考基準（実績評価：総合判断と世界選手権権利）

◆各スタイル・各階級 1 名の代表を選出する。選考委員会は、上記 3.のすべての実績を基に、以下の要素を総括的かつ多角的に判断し、国際大会でメダル獲得が期待できる選手を選考する。

◆最重要事項：世界選手権への道筋

各スタイル・各階級において、U17 アジア選手権大会の出場（計量パスを含む）は、U17 世界選手権大会への出場権利を確保する必須条件である。したがって、選考にあたっては、アジア選手権で確実に当該階級の出場権を確保できる 実力とコンディションを最優先で評価する。

◆競技実績：上記リストにある主要大会での優勝または上位入賞の実績を総合的に評価する。

・複数の選考基準該当について：U カテゴリーにおいて、複数の選考基準に該当する場合であっても、そのすべてを評価対象とし、選考委員会による総合的な判断に資する。

・実力と将来性：現在の技術レベル、体力での評価、**体重調整**の状況などを総合的に判断する。

5. 国際大会派遣に関する一般規定

【U カテゴリーにおける選考基準の該当に関する特例】

U カテゴリーの選考において、例年の規定では、国際大会（世界・アジア選手権大会）派遣について、いずれか一つを選出（単一選出）することになっている。しかし、今回は特別な事情により、特例としてこの単一選出の規定を適用しないものとする。